

「ダブルスドロワー作成細則の四国ジュニア(1)シードの選考を一部改定しました。」

《改定前》

順位の合計が同じ場合は、ポイントの合計の大きいペアを上位とする。ポイント合計も同じ場合は抽選とする。

ペアのうちランキングのない選手がいた場合、**2人ともがランキングのあるペアよりも下位となる。**

《改定後》

順位の合計が同じ場合は、ポイントの合計の大きいペアを上位とする。ポイント合計も同じ場合は抽選とする。

ペアのうちランキングのない選手がいた場合、**該当選手はその種目の出場選手の最低ランキングの次の順位を付与して比較する。**

四国ジュニア大会(ダブルス) ドロー作成細則

1. 四国ジュニア

(18・16・14 才以下:16ドロー、各県4ペア 12 才以下:12ドロー、各県3ペア)

(1)シードの選考

各県申込順位1位のペアを1～4シードとする。

そのうち、四国ジュニアポイントランキングの順位の合計が小さいペアを上位とする。

順位の合計が同じ場合は、ポイントの合計の大きいペアを上位とする。ポイント合計も同じ場合は抽選とする。ペアのうちランキングのない選手がいた場合、該当選手はその種目の出場選手の最低ランキングの次の順位を付与して比較する。

(2)ドローの作成

大会要項に記載されたドロー抽選会の日に、ドローを作成する。

1～4シードの位置を決定したあと、各県申込順位2位のペアを1位のペアの逆側(トップハーフかボトムハーフ)で抽選する。

残りのペアの位置を抽選するが、同県のペア同士は1回戦で対戦しない。ただし、エントリー数が満たないなどの理由で県枠が増えた場合、追加されたペアは同県のペアと1回戦で対戦する場合がある。

(3)補欠ペアの取り扱い

各県枠の次点のペアを補欠ペアとする。

ドロー作成前に欠場ペアが出た場合、その所属県の補欠ペアが出場となる。

ドロー作成後に欠場ペアが出た場合、補欠リストの最上位のペアが出場となる。

補欠リストの順位は、シードの選考と同じ方法で決定する。

なお、欠場をしたペアは、その後いかなる理由があろうと再エントリーすることはできない。

(4)県をまたいでのペアの取り扱い

四国ジュニア委員会で認められ、県予選を免除された県またぎのペアがいる場合、ドロー数を1増やしてドローを作成する。そのペアのシードや位置はドロー抽選会で決定する。

2. 四国中学生(8ドロー、各県2ペア)

(1)シードの選考・ドローの作成

全国枠が1のためシードは選考せず、以下の手順で抽選し、大会当日にドローを作成する。

①各県申込順位1位のペアを、1～4シードの位置に振り分ける。

②各県申込順位2位のペアを、1位のペアの逆側(トップハーフかボトムハーフ)に振り分ける。

(2)補欠ペアの取り扱い

各県枠の次点のペアを補欠ペアとする。

大会前日までに欠場ペアが出た場合、その所属県の補欠ペアが出場となる。

大会当日に欠場ペアが出た場合、受付をした補欠ペアのうち、四国ジュニアポイントランキングの順位の合計が最も小さいペアが出場となる。→この場合、欠場ペアの出た県のペアという取り扱いとし、同県での1回戦の対戦もあり得る。

なお、欠場をしたペアは、その後いかなる理由があろうと再エントリーすることはできない。

3. その他

その他、ドロー作成については、(公財)日本テニス協会発刊「JTA TENNIS RULE BOOK」に準ずる。